

令和6年3月

## 自己評価結果

社会福祉法人北越福社会  
北越こども園

施設職員の間から見た「北越こども園」の自己評価結果を、下記のとおりご報告します。

### 記

- 園長、副園長、主幹保育教諭2名の計4名が評価を行いました。
- 各評価項目について、A～Cの3段階で評価を行いました。
- 各カテゴリーごとの総合所見、及び全体的なキーワードと総合所見を設け、最後に総評コメントを行いました。

## 令和5年度 施設職員自己評価

### 1. 施設・事業所の概要

(1) 法人名	社会福祉法人北越福社会
(2) 事業所名	北越こども園
(3) 所在地	新潟県十日町市本町六の一丁目79番地1
(4) 電話番号	025-757-3860
(5) 福祉サービスの種類	幼保連携型認定こども園

### 2. 実地調査日

令和6年3月31日

### 3. 評価結果の概要

【評価基準】 A…達成されている B…取り組んでいるがまだ不十分 C…できていない

評価基準	評価結果
I. 子どもの発達援助	
1 発達援助の基本	
(1)保育計画が、保育の基本方針に基づき、更に地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	A4・B0
(2)指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	A3・B1
(3)一人一人の子どもの発達状況に配慮した指導計画となってい	A3・B1

る。	
(4)一人一人の子どもの発達状況、保育目標、生活状況についての記録があり、それぞれの子どもに関係する全職員に周知されている。	A3・B1
(5)一人一人の子どもの発達状況、保育目標、保育の実際について話し合うためのケース会議を定期的かつ必要に応じて開催している。	A4・B0
総合所見	
<p>■毎年ごとに見直しを行い、毎月の幼児クラス、未満児クラスの会議で検討している。</p> <p>■最近の傾向として、主体性重視の保育が広まっていたり、支援が必要なお子さんが増えている中で、保育計画が何年も変化が見られないので、見直しが必要かもしれない。</p> <p>■未満児リーダー、幼児組リーダーを配置することにより現場の様子や問題点等をタイムリーに把握できた。</p> <p>■気づきや改善点等を忘れず書き留められるように付箋を各クラスに置き、会議で発表できるようにした。</p>	
<b>2 健康管理・食事</b>	
(6)登園時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人一人の健康状態に応じて実施している。	A4・B0
(7)健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映している。	A4・B0
(8)感染症への対応については、マニュアルがあり、発生に際しては、その状況を必要に応じて保護者に連絡している。	A4・B0
(9)専門医から指示があった場合において、アレルギー疾患をもつ子どもの状況に応じて適切な対応を行っている。	A4・C0
(10)日々の献立を保護者に示すとともに、必要に応じて、子どもの喫食状況を保護者に知らせている。	A4・B0
(11)食事を楽しむことができる工夫をしている。	A4・B0
総合所見	
<p>■食材も高騰している中、安心・安全の食材を確保し、できる限り手作りおやつを心掛けている。</p> <p>■毎朝の健康チェックは必ず行っている。</p> <p>■看護師や必要な時は学校医のアドバイスを受けて判断している。</p> <p>■アレルギー疾患のある子には代替食の提供を行っている。</p> <p>■食育は栄養士がクラス担任と相談の上、様々な取り組みを行っている。</p> <p>■看護師や栄養士を配置し、保護者や園児個々に対応したアドバイス、面談などを行っている。</p> <p>■おたよりを通して情報を発信し、身体測定や検診の結果、献立表や感染状況などはITCを利用して発信し、保護者がいつでもスマートフォンで確認できる。</p> <p>■アレルギー児への代替食を提供するにあたり、医師の指示書を基に園長・栄養士・看護師と保</p>	

<p>護者による面談を行い、状況に応じて適切な対応を行い安心して頂けた。</p> <p>■代替食の W チェック後の提供の手順は昨年度と同様に実施した。</p>	
3 保育環境	
(12)子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	A3・B1
(13)生活の場に相応しい環境とする取組みを行っている。	A3・B1
総合所見	
<p>■研修で学んだことを取り入れている。</p> <p>■保育室は陽当たりも良く、配慮されている。</p> <p>■仕切り等を作り、クールダウン等できるようにしている。</p> <p>■自園には看護師が二人いて未満児組と幼児組に一人ずつ配置されているので、SOSの連携がすぐにとれ、安心して保育できる環境である。</p>	
4 保育内容	
(14)子ども一人一人への理解を深め、受容しようと努めている。	A3・B1
(15)基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人一人の子どもの状況に応じて対応している。	A3・B1
(16)子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	A1・B3
(17)身近な自然や社会と関わるような取組みがされている。	A4・B0
(18)さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている。	A3・B1
(19)遊びや生活を通して、人間関係が育つよう配慮している。	A4・B0
(20)子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	A4・B0
(21)性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	A4・B0
(22)乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	A4・B0
(23)長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	A2・B2
(24)障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	A2・B2
総合所見	
<p>■最近の報道で「不適切な保育」などが取り上げられるようになったので、今まで以上に全ての職員が気をつけるようになった。</p> <p>■毎日の生活に追われ、障がい児に対するきめ細やかな計画性や環境整備がなかなか難しい。</p> <p>■子どもの言動を受け止め、寄り添いつつ、物事の良し悪しを伝え、友だち等の思いも理解でき</p>	

るように繰り返し話している。

■排泄のタイミングを逃さないように声を掛け、成功を褒めて、やる気につなげている。

■自発的に活動できる時間には、思い思いに楽しんでいる。

■天気の良い日には散歩に出かけ、自然に触れて楽しんでいる。

■公園や公共施設を利用し、マナー等伝えている。

■子どもからのリクエストで曲を流したり、あそびの中で作った作品を撮影し、保護者に掲示して共有している。

■保護者が仲立ちし、コミュニケーションを取りながらあそびや生活の中で人間関係が身につけていくようにしている。

■人として倫理的に考え、行動できるように、日々の生活の中で培っている。

■乳児とのスキンシップを充分に取り、心地よい空間となるように保護者と共有しながら進めている。

■迎えが来るまでの時間を、好きな遊びをして過ごせるようにしている。

■障がい児の特性に合わせて危険のないように、又、おひさま等、専門機関と相談しながら進めている。

■なるべく個々に応じた保育を心がけている。近頃は園児数に対して補助スタッフも充実しているので個々へのていねいな関わりができています。

■昨年、他園を見学し、園全体を挙げて環境整備についてを課題としていたのに、活かされていないように思う。

■R5年度の年齢ごとの「保育内容の到達目標」をベースに取り組んだ。その結果を各担任より振り返ってもらい、付け足し等をした資料が、また次年度へと繋がるものとなり良かった。

■リトミックが得意な職員に各年齢に合った身体を使った表現あそびの指導をしてもらった。おかげで楽しい体験ができ良かった。

■加配児の特性に合わせた保育環境作りを、その子の成長や状況に合わせて整えていく必要があるため、職員全体で情報共有を継続して行っている。

## II.子育て支援

### 1 入所児童の保護者の育児支援

(1)一人一人の保護者と、日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。

A4・B0

(2)家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。

A4・C0

(3)子どもの発達や育児などについて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。

A4・B0

(4)虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報をもとに速やかに対処している。

A4・B0

(5)虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整って

A4・C0

いる。	
<b>2 多様な保育ニーズへの対応</b>	
(6)地域の保育ニーズを把握するための取り組みを行い、それを事業に反映している。	A1・B3
<b>3 地域の子育て支援</b>	
(7)育児相談など地域の子育て家庭を対象とする子育て支援のための取り組みを行っている。	A1・B3
(8)一時保育は、一人一人の子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	A3・B1
総合所見	
<p>■市役所と細やかな連携が取れていると思うので、このまま続けていきたい。</p> <p>■送迎時等、保護者とコミュニケーションを図り、子どもの成長等共有している。また、傷等があった場合に、保護者に声を掛け原因等を訊き職員にも共有している。</p> <p>■電話や来園による相談や、一時保育の受入を行っている。</p> <p>■入所児の保護者に対しては情報交換や面談を行うなどして支援を行っているが、地域の子育て支援は滞っている。</p> <p>■R5年度から手ぶら降園を実施し保護者の負担を軽減できて良かった。R6年度からは、各自オムツを1袋園に置き、補充・名前書き等の負担を軽減できる形も導入予定である。</p>	
<b>III.地域の住民や関係機関等との連携</b>	
<b>1 地域の住民や関係機関・団体との連携</b>	
(1)保育所の役割を果たすために必要な地域の関係機関などの情報を収集し、それを職員が共有している。	A3・B1
(2)子どもの健康状況について、医療機関などに相談や連携ができる体制になっている。	A4・C0
(3)育児相談などに際して、児童相談所などの専門機関に相談や連携ができる体制になっている。	A4・C0
(4)小学校との間で、小学生と園児とが互いに行事等で交流する機会を設けており、職員間の話し合い、研修などの機会がある。	A4・B0
(5)民生・児童委員や自治会等の地域団体と連携した取り組みを行っている。	A4・C0
(6)近隣の人々に保育について理解を得たり、協力を依頼するなどの配慮をしている。	A4・C0
(7)中高生などの保育体験を受け入れるに当たっては、受け入れの意義や方針が全職員に理解されている。	A4・B0
<b>2 実習・ボランティア</b>	
(8)実習生を受け入れるに当たっては、受け入れの意義や方針が	A4・B0

全職員に理解され、実習担当者も決められている。	
(9)ボランティアを受け入れるに当たっては、受け入れの意義や方針が全職員に理解され、受け入れの担当者も決められている。	A3・B1
総合所見	
<p>■可能な限り実習生や職場体験の生徒を受け入れている。</p> <p>■感染症等、学校医への連絡・相談をしてアドバイスを受けている。</p> <p>■小学校とは毎年行事等で交流を行っている。</p> <p>■体験学習や実習生も毎年受け入れている。</p> <p>■コロナ中でできなかった園開放を復活させる予定だったが、しばらくお休みしていたので、いろんな見直しをする期間に充てたためR6年度から再開の予定。</p>	
<b>IV.運営管理</b>	
<b>1 基本方針</b>	
(1)保育所の保育理念及び基本方針が明文化されている。	A4・B0
(2)保育理念や基本方針を職員、保護者、関係者に周知するための取組みを行っている。	A3・B1
<b>2 組織運営</b>	
(3)保育の質の向上や改善のための取組みを、職員参加により行っている。	A4・B0
(4)保育の内容について、職員参加により、定期的に自己評価を行っている。	A3・B1
(5)職員の研修ニーズを把握し、職員に適切な研修機会を確保している。	A2・B2
<b>3 守秘義務の遵守</b>	
(6)守秘義務の遵守を周知している。	A2・B2
<b>4 情報提供・保護者の意見の反映</b>	
(7)情報提供に当たって、わかりやすく伝える工夫や配慮を行っている。	A3・B1
(8)保育の実施に当たり、保護者から意見を聞くための取り組みを行い、その意向に配慮している。	A4・B0
<b>5 安全・衛生管理</b>	
(9)事故や災害に適切に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	A4・B0
(10)事故防止のための具体的な取組みを行っている。	A3・B1
(11)調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。	A4・B0
総合所見	

- 職員がどのような研修を受けたいのか、訊いてみようと思う。
- 入園の際に保育理念や基本方針を説明し、ゆうぎ室やホームページに掲示している。
- 環境改善や保育の取組等を検討している。
- クラス運営やスキルアップにつながる研修に参加している。
- 保護者にはメールやおたより配布等行っている。
- 「守秘義務」は現職員はもちろん、退職者にも改めて周知するよう促し、同意書でも確認できる形にして取り組んだ。
- 園児の登降園をQRコードでのシステムを導入し定着してきた。
- 園運用管理システム（キッズビュー）の運用が定着してきた。24時間いつでも確認や入力ができるので保護者のメリットはかなり大きいと思う。

## V. 全体の総合所見

### キーワード

- 職員同士のコミュニケーション、周知、仲間意識、共通理解
- 保護者支援
- 園内研修
- 保育の環境
- 地域への発信
- 体制づくり
- 環境整備
- キッズビュー
- 担当制保育

### 総合所見

- 職員間のコミュニケーションの取り方、どのようにすれば良好となるか、先ずはここがうまくいっていないと質の高い保育は無理だと思う。
- 様々な子がいる中でその時その場に応じ適切な保育環境をどう提供し行っていくか。特性がある子が増えてきている中で、難しくもあるが、落ち着いて過ごせるように試行錯誤しながら行っている。
- にこにこデー（園開放）等の発信をもっとやっていきたい。
- 人員がカツカツで、保育中のSOSに対応できる余裕がない。早急に人員確保が必要。
- コロナが5類になった事で行事や保護者会も無理のない形で復活でき、子どもたちの楽しみも増えて良かった。今後もその時の状況に合った進め方でやっていけたら・・・と思う。
- 担当制保育について、他園を見学に行ったり、グループ会等で学んだり・・・と、一年試行錯誤の年だった。時代に合った保育への取組みも大事だが、いくら良いと言われる保育であっても、自園の環境や保育体制に合っていないと現実はなかなか厳しいのかなあ～と思う。これからどうしていくかは、職員一丸となつての話し合いが必要だと感じる。

#### 4. 施設・事業所のコメント

コメント
■保護者支援にも力を入れていき、悩んでいる人、困っている人がいたら、そっと寄り添える園でありたい。
■働き方改革とは、自分の仕事が楽になることではない。捉え違いをしている人がいるので、正していく必要がある。
■外部研修を受講しても、皆さんに共有する時間がほぼ取れていないので、時間を設定した方がよい。現在、回覧のみ。
■自分の器の大きさを認識し、こぼれてしまう所を「無理」と断定せずに広げる努力が必要。

当園の改善目標として役立ててまいります。